

事業名	令和6年度 ブルーカーボンの評価手法及び効率的藻場形成・拡大技術の開発
予算区分	農林水産研究推進事業委託プロジェクト「脱炭素・環境対応プロジェクト」
事業実施期間	令和2～6年度
担当者	(海洋生産技術担当) 小倉季人・石川貴志
共同研究機関等	水産研究・教育機構 水産技術研究所、同水産資源研究所、同水産大学校 生物生産学科、東京大学 大気海洋研究所、広島大学 大学院先進理工系科学研究科、海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所、北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター厚岸臨海実験所、鹿児島県水産技術開発センター、山川町漁業協同組合、徳島県農林水産総合技術支援センター水産研究課、新潟県水産海洋研究所、千葉県水研センター東京湾漁業研究所、岩手医科大学 教養教育センター

地球規模での温室効果ガスの削減に向け、海藻・藻場の CO₂ 吸収機能に着目した評価手法を開発し、吸収源増大の技術開発と脱炭素の取組を進めている。徳島県海域では、適した藻場形成技術の現場実装試験を実施している。令和6年度は、藻場形成・拡大技術として、サガラメ世代更新（老齢個体伐採・新規入植）を促進する現地試験、刈り取り後のサガラメ付着器残存試験、サガラメの早熟個体調査を行った。

詳細については、「農林水産研究推進事業委託プロジェクト研究 脱炭素・環境対応プロジェクト ブルーカーボンの評価手法および効率的藻場形成・拡大技術の開発 令和6年度実績報告書」で報告した。